

事故後の対応を考える

安全・安心・納得の医療をふまえて

看護師が当事者となる医療事故が後を絶たない。安全・安心・納得の医療をめざして、日々、業務に取り組むなかで、不幸にして起きてしまった事故の後、被害者となってしまった患者やその家族にすべきことは何か。そして事態をさらに悪化させないために、いかに対応していけばいいのか。

そのときに備えて必要な、平時の医療安全・リスクマネジメントに関する看護管理者の考え方や、実際に事故が起きたときに看護管理者が考え、しなければならないことについて、看護管理者と法律家が協働した対応事例や、日本看護協会による支援のあり方、現場における平時からの訓練の取り組みや事後対応の実際などをヒントに、探っていききたい。

